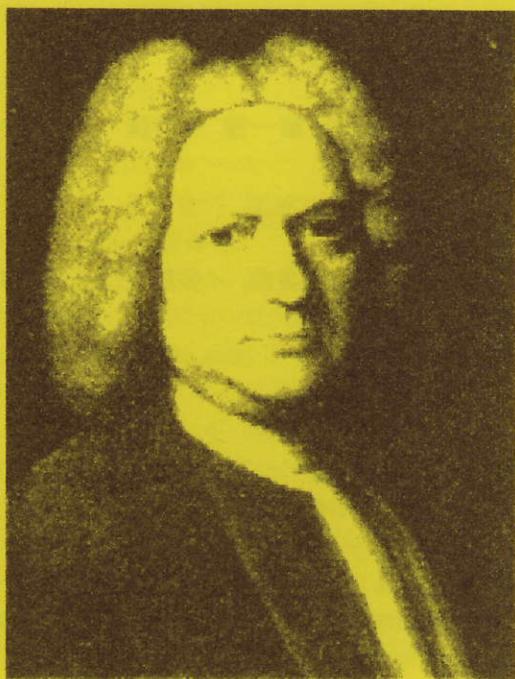


芦屋室内合奏団
第4回 春のバロックコンサート



西宮市プレラホール
2004年 4月 29日(木)
開場 13:30
開演 14:00

秋の定期演奏会に加えて、小規模でアットホームなという趣旨で始めた春のバロックコンサートも、今年で4回目を迎えました。

今年は原点に帰って、あらゆる西洋音楽の源泉といわれています、J.S.Bach の音楽を中心に構成しました。又、1曲だけユニークな曲が紛れ込んでいますが、ユーモアと共にいろいろ感じさせられます。これも、単純な素材も音楽的個性でこれ程雰囲気が変わってくるといった原点の様なものを、おかしさと共に感じていただければ幸いです。

相変わらぬ皆様方のご声援に感謝いたします。

2004年4月 芦屋室内合奏団 団長 青柳 良
団員 一同

PROGRAM

J. S. バッハ ヴァイオリン協奏曲 第一番 イ短調 BWV 1041

I. (テンポ指示なし) II. アンダンテ III. アレグロ・アッサイ

ヴァイオリン独奏 戸倉啓子

J. S. バッハ オーボエ・ダモーレ協奏曲 イ長調 BWV 1055

I. アレグロ II. ラルゲット III. アレグロ・マ・ノン・タント

オーボエ・ダモーレ独奏 本間匡夫

♪ 休憩 ♪

P. ハイドリッヒ 「ハッピー・バースデイ」 変奏曲

0. テーマ I. バッハ風 II. ハイドン風 III. モーツァルト風 IV. ベートーヴェン風
V. ブラームス風 VI. ワーグナー風 VII. ドボルザーク風
VIII. ウィーン風 IX. 映画音楽風 X. ジャズ風 XI. タンゴ風 XII. ハンガリー風



J. S. バッハ チェンバロ協奏曲 第五番 ヘ短調 BWV 1056

I. (テンポ指示なし) II. ラルゴ III. プレスト

チェンバロ独奏 小津久子

J. S. バッハ ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 ニ短調 BWV 1060

I. アレグロ II. アダージョ III. アレグロ

ヴァイオリン独奏 戸倉啓子 オーボエ独奏 本間匡夫

指揮: 酒井 睦雄 芦屋室内合奏団

■J. S. バッハ ヴァイオリン協奏曲 第一番 イ短調 BWV 1041

ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)のヴァイオリン協奏曲は「イ短調」、「ホ長調」、それに二つのヴァイオリンのための「ニ短調」があるが、チェンバロ協奏曲として楽譜が残されている曲のうちにも原曲はヴァイオリン協奏曲であったものが含まれている。

これらはバッハが三十二歳から三十八歳、器楽曲を多く書いたケーテン時代のもので、急—緩—急による三楽章形式などヴィヴァルディらイタリアの作曲家の協奏曲の影響が残っているが、バッハならではの緻密な構成と展開、それに特に緩徐楽章の旋律の美しさが際立っており、多くの人に親しまれている。

第一番と呼ばれる「イ短調」は、第一楽章、四分の二拍子。力強くしかも哀愁をおびた旋律とともに独奏ヴァイオリンは合奏と美しい対比の綾を織る。第二楽章、アンダンテ、ハ長調、四分の四拍子。スラーのついた三連音符で息の長い詠唱風な主題を歌って行く。長調が短調に変化し長調にもどる。最後の部分は溢れるような輝きにまで達する印象を与える。第三楽章、アレグロ・アッサイ、イ短調、八分の九拍子。軽快な舞曲風で、独奏ヴァイオリンは岩を縫って走る水のように細かく動きながら技巧を発揮する。

■J. S. バッハ オーボエ・ダモーレ協奏曲 イ長調 BWV 1055

チェンバロ協奏曲第四番の原曲と考えられている曲で、元のオーボエ・ダモーレ協奏曲に復元した形となる。オーボエ・ダモーレは移調楽器でオーボエより短3度低くA管である。オーボエと、ひと回り大きなイングリッシュ・ホルンの中間的な大ききで、「愛のオーボエ」という名前にふさわしく、柔らかく優しい音色である。

第一楽章、アレグロ、イ長調、二分の二拍子。きびきびとした弦のスタッカートで始まる重量感のある曲。第二楽章、ラルゲット、嬰へ短調、八分の十二拍子のパッサカリア。第三楽章、イ長調に戻って活発なアレグロ・マ・ノン・タント、八分の三拍子。

■P. ハイドリッヒ 「ハッピー・バースデイ」変奏曲

当団は来年なんと四十歳！

ペーター・ハイドリッヒ(1935-)による誰もが知っている曲による変奏曲(1988)。J.S.バッハからはじまってクラシックの大作作曲家の作品との融合、そして後半はポピュラー音楽を換骨奪胎。

本日の祝日に因んでの選曲。ギドン・クレーメル率いる合奏団「クレメラータ・バルティカ」の五歳の誕生日を祝ってCDにも入った(2002)。

「ハッピー・バースデイ・トゥ・ユー」という曲はもと「グッドモーニング・トゥ・オール」で、幼稚園にやって来た園児たちを朝教室に迎えるための歌だったらしい(「幼稚園の歌物語」(1893)の中の一節、ケンタッキー州のヒル姉妹作詞作曲)。親しみやすいメロディーが、いつしか誕生日の歌に変身した。われわれもみんなで楽しもうと、協奏曲のソリストをフィーチャーして、オーボエ、それにクラリネットも加えて演奏することに。

■J. S. バッハ チェンバロ協奏曲 第五番 へ短調 BWV 1056

これもバッハがチェンバロ用に編曲したもので、原曲はヴァイオリン協奏曲であったと考えられている。

第一楽章、(テンポ指示なし) へ短調、四分の二拍子。シンコーペーションのある堂々とした旋律ではじまる。第二楽章、ラルゴ、変イ長調、四分の四拍子。とりわけ高貴で美しい楽章で広く親しまれている。第三楽章、プレスト、へ短調、八分の三拍子。ジーク舞曲のリズムによる活発な楽章。

■J. S. バッハ ヴァイオリンとオーボエのための協奏曲 ニ短調 BWV 1060

二台のチェンバロ協奏曲の原曲は、二つの旋律楽器と弦、通奏低音のための協奏曲であることは確実であり、二〇世紀になって二つのヴァイオリン、そしてヴァイオリンとオーボエの協奏曲にそれぞれ復元された。二つのソロは同等でなく、第一ソロがヴァイオリン的であるのに対して、第二ソロは歌(カンティレーナ)を受け持つことが多いため、ヴァイオリンとオーボエによる復元はびったりであるようだ。バッハのもっとも円熟した作品の一つに数えられている。

第一楽章、アレグロ、ニ短調、四分の四拍子。調性は短調であるが、明るくいきいきとした印象の音楽。第二楽章、アダージョ、ハ長調、八分の十二拍子。弦のピッツィカートに二つのソロが優美な二重奏を展開する。ヴァイオリン+オーボエのカンタービレが引き立ち、編曲のチェンバロ独奏よりも音楽が生きていると思われる。第三楽章、アレグロ、ニ短調、四分の二拍子。細かい動きが展開する。

■本間匡夫 Tadao Honma オーボエ、オーボエ・ダモーレ

相愛大学音楽学部器楽学科卒業、同専攻科修了。同大学卒業演奏会、同大学主催第13回コンチェルトの夕べ、第44回朝日推薦演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会等に出演。第9回日本クラシック音楽コンクール入選、第5回 KOBE 国際学生音楽コンクール優秀賞、第5回高槻音楽コンクール第2位。岩崎勇、清水明の各氏に師事。在学中にポーランド国立ワルシャワ・ショパンアカデミー夏期研修に参加、S.マリコウスキ氏に師事。現在、ウインドアンサンブル『奏』オーボエ、イングリッシュホルン奏者。他に和楽器とのアンサンブル、コンピュータを伴奏に使っての独演会など、幅広いジャンルでの演奏活動を行っている。

■戸倉啓子 Keiko Tokura ヴァイオリン

大阪教育大学特設音楽弦楽部卒業。NHK 新人演奏会出演。元京都市交響楽団団員。1994年より田中敏子氏に師事しながら短期間ボストンで、ボストンフィルのヴァイオリン奏者 S.ローテンバーグ氏と M.スピーカー氏のレッスンを受ける。1996年に名古屋・東京、2000年に東京でリサイタルを行う。

■小津久子 Hisako Ozu チェンバロ

大阪音楽大学卒。芦屋室内合奏団専属鍵盤楽器奏者。なにより弦楽合奏との一体感が大好きで、楽器が持つ個性を少しでも表現できればと思い、今回二段鍵盤チェンバロに挑戦します。ピアノ、チェンバロ、オルガンそれぞれ奏法が異なる楽器に魅力を感じ、これからも欲ばりでいたいと木島美紗子、砂野有紀両氏に奏法の指導を受けています。

■酒井睦雄 Mutsuo Sakai 指揮

桐朋学園高等学校音楽科を経て1971年桐朋学園大学卒業。指揮を斎藤秀雄、秋山和慶両氏に、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F.フックス各氏に師事。71年より相愛オーケストラ指揮者、77年ザルツブルクにてO.スイトナー氏に師事。同年、東京にてS.チェリビダッケ氏のゼミナールに参加。2001年には芦屋室内合奏団を率いてドイツのバンベルクにてバンベルク交響楽団団員とともにニューイヤーコンサート、ドレスデンにてフラウエン教会落成記念コンサート等を行い好評を博す。現在、相愛大学教授として音楽専門家の育成にあたる傍ら、74年より芦屋室内合奏団音楽監督、岐阜交響楽団常任指揮者、90年より高知室内管弦楽団指揮者をつとめる等、アマチュア合奏団の発展にも尽力している。

■芦屋室内合奏団

音楽監督 : 酒井睦雄
 団 長 : 青柳 良
 コンサートマスター : 鳥丸安雄
 マネージャー : 福永精一
 部 長 : 中田和夫

ヴァイオリン	:	鳥丸安雄	藤本恭子	福永千江子	戸倉啓子
	:	福永精一	青柳 良	黒川美恵子	
ヴィオラ	:	中田久仁子	竹村久美子	音村圭一郎	大内隆一(クラリネット)
チェロ	:	鳥丸直子	宮崎晴夫	堀田一之	
コントラバス	:	中田和夫			
チェンバロ	:	小津久子			

次回演奏会のお知らせ ♪♪♪ 芦屋室内合奏団 第38回 定期演奏会 ♪♪♪
 2004年 11月 21日(日) オルビスホール(神戸ファッション美術館)